

対象年度		令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート													
事務事業名		商工業振興事業						予算事業名		商工業振興事業費							
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令								
				07	01	03	1101	経常経費									
総合計画体系		歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう							事業の区分		主要事業						
		活力と創造力を育む商工業の振興															
		活力ある地域産業の振興							担当課係等		商工観光課						
事業期間		継続 (年度～ 年度)										商工振興係					
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
①市内商工業の振興発展が図られる。 ②市内住宅関連業者の就業機会の確保と、長期定住化が図られる。 ③和装産地の振興を目的とした、情報交換等を行う。								中小企業相談事業は、商工会議所内に設置された「中小企業相談所」が実施する経営改善普及事業に対し、組織の機能強化を目的に創設された制度である。住宅リフォーム補助金は、平成23年度より社会資本整備総合交付金を活用し実施している。									
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】									
①各団体の事業に対する補助金の交付 ・結城商工会議所（中小企業相談事業・商工業振興事業） ・結城桐製品組合 ②住宅リフォーム資金補助金 ・住宅の改良または補修を行う市民に対し、リフォーム資金の一部（1/10、上限10万円）を補助する。								①市内事業者（結城商工会議所会員、結城桐製品組合等） ②市民及び市内施工業者									
								【事業をとりまく環境の変化】									
								国内経済は、緩やかな回復基調が続いているが、本市を含む地方の中小企業に関しては、厳しい状況が続いているのが現状である。住宅リフォーム資金補助金については、市民の利用率が高く、経済効果も高いことから継続して欲しいとの意見を受けている。									
【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】									
①結城商工会議所・桐製品組合が実施する事業に対し、補助金を交付する。 ②住宅リフォーム資金に対し補助金の交付を行う。 ③全国和装産地視察地 鹿児島市 ④TMOへ地場産品販売促進委託				①結城商工会議所・桐製品組合が実施する事業に対し、補助金を交付する。 ②住宅リフォーム資金に対し補助金の交付を行う。 ③TMOへ地場産品販売促進委託				①結城商工会議所・桐製品組合が実施する事業に対し、補助金を交付する。 ②住宅リフォーム資金に対し補助金の交付を行う。 ③TMOへ地場産品販売促進委託									
■事業費																	
				R04年度		R05年度											
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	5,750	2,250										
	県		支	出	金	0	0										
	地			方	債	0	0										
	そ			の	他	0	0										
	一				般	財	源	16,668	18,962								
歳		入		計（千円）		22,418	21,212										
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）					金額（千円）	金額（千円）										
	07	報償費				29	0										
	08	旅費				97	187										
	10	需用費				29	64										
	12	委託料				1,815	0										
	13	使用料及び賃借料				0	23										
	18	負担金補助及び交付金				20,448	20,938										
歳		出		計（千円）（A）		22,418	21,212										
伸		び		率（％）			-5.37										
備 考	総合計画 88 ページ 予算書 138～139 ページ																

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	中小企業相談指導件数	件	目標	1,000.00	1,000.00	1,000.00
			実績	763.00	0.00	0.00
	住宅リフォームPR広報紙掲載	回	目標	2.00	2.00	2.00
	広報活動：お知らせ版5月号×1回、9月×1回		実績	2.00	0.00	0.00
成果 指標	結城商工会議所会員数	社	目標	1,340.00	1,340.00	1,340.00
			実績	1,340.00	0.00	0.00
	住宅リフォーム資金補助金支給件数	件	目標	50.00	50.00	50.00
			実績	41.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市内の商工業や地域産業の振興のために必要な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市内中小事業者や商工会議所に対しての支援を行政が行うことは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	補助金という形での支援は妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	依然として厳しい社会情勢であり、事業の成果が出にくいいため、効率性についてはどちらも言えない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	補助金の交付先は、結城商工会議所や結城桐製品組合など公共性の高い団体であり、住宅リフォーム補助金についても、申請者全員に交付できているため、公平性があると言える。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	各団体への補助金は、実績報告にて有効な活用が確認でき、住宅リフォーム補助金についても、補助金額以上の施工費用が発生しているため、経済効果があると思われる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	各団体への補助金は、例年満額請求を受けており、住宅リフォーム補助金についても、予算額に迫る執行率があるため、順調であると判断できる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
事業全体としては、市民からの問合せや実績報告などから、一定の効果をあげていると判断できる。課題として、より効率性な事業とするため、各団体へ継続的で、的確な支援策を検討していく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
引き続き、補助金交付先と連携して、事業内容を適宜見直ししながら、より効率的に実施していく。他自治体の情報についても積極的に収集し、社会情勢にあった支援策の導入を図っていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容	事業のほとんどが必要な補助金であることから、補助金交付先と連携しながら実施する必要がある。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入）	上記評価のとおり